

○ 旭小学校

- ・ 前期学校評価について
- ・ 後期学校評価について
- ・ 学校運営協議会評価

令和3年度美幌町立旭小学校

# 学 校 評 価

—結果分析と改善に向けて—



# 前期学校評価

7月の教育活動のアンケートへのご協力ありがとうございました。保護者アンケートは200名中172名の方からご解答いただき、回収率は86%でした。多くの方からのご協力感謝申し上げます。いただきましたご意見をもとに、後期の教育活動の改善に向けて努力してまいります。

## 1 児童アンケート

	質問項目	A (4)	B (3)	C (2)	D (1)	E	平均	前年度比	AとBの割合(%)	
1	宿題や家庭学習をがんばっている。	77	73	19	11	8	3.2	±0		83
2	学習ルール(身がまえ・ものがまえ・心がまえ)をまもっている。	62	91	18	4	12	3.2			87
3	本を読むことが楽しい。	112	39	19	9	9	3.4	±0		84
4	学校の授業はわかりやすい。	129	38	10	7	4	3.6	+0.1		91
5	友だちを大切に、なかよくしている。	149	29	4	2	4	3.8	+0.1		97
6	学校での生活は楽しい。	128	37	16	4	3	3.6	±0		89
7	学級の当番や係活動、掃除をすすんでやっている。	120	50	10	3	2	3.6	+0.1		93
8	運動や遊びなど体を動かすことが好き。	137	25	13	7	4	3.6	+0.1		89
9	元気にあいさつしている。	97	64	13	9	3	3.4	+0.1		88
10	自分にはよいところがある(人の役に立っている)と思う。	55	54	35	15	25	2.9	-0.1		69
11	先生は自分のがんばりをほめてくれる。	112	46	11	6	11	3.5	+0.2		90

## 2 保護者アンケート

	質問項目	A (4)	B (3)	C (2)	D (1)	E	平均	前年度比	AとBの割合(%)		
1	家庭学習の習慣が身に付いている。	51	78	36	7	0	3.0	+0.1		75	
2	読書に親しむ習慣が身に付いている。	32	44	69	26	1	2.5	+0.1		44	
3	「学校の授業は分かりやすい」と言っている。	54	83	13	3	19	3.2	-0.1		90	
4	思いやりをもって生活している。	49	107	11	2	3	3.2	±0		92	
5	学校生活を楽しんでいる。	106	51	13	0	2	3.5	-0.2		92	
6	家庭では進んでお手伝いをしている。	30	83	52	7	0	2.8	+0.1		66	
7	健康に気を配り、運動や遊びに興味を持って取り組んでいる。	63	86	19	4	0	3.2	-0.1		87	
8	挨拶など、基本的な生活習慣が身に付いている。	39	111	19	2	1	3.1	-0.1		88	
9	生徒指導・学習指導などにおいて、家庭と学校の協力関係が築かれている。	57	80	6	4	25	3.3	+0.2		93	
10	コロナ禍で様々な制限がある中、学校は、行事や教育活動を工夫して実施している。	65	71	13	3	20	3.3	+0.1		89	
平均時間		1年	2年	3年	4年	5年	6年		全校で1日3時間以内の割合(%)		
11	1日平均、テレビやゲーム・インターネットなどは、どのくらい見えていますか。	103分	96分	128分	149分	125分	133分			93	
12	1日平均、家でどのくらい勉強をしていますか。	22分	26分	28分	33分	43分	33分		全校で学年×10分以上している割合(%)		45
13	1日平均、家でどのくらい本を読んでいますか。	8分	10分	8分	14分	24分	19分		全校で1日10分以上の読書をしている割合(%)		55

### 3 職員評価

		「学びに浸り、学びが湧き上がる子どもの育成」 ～浸透する知を治め 湧き上がる知を操る 機知に富む旭の子～						平均	前年度比	AとBの割合	
		A	B	C	D	E					
重点教育目標	1	【重点1 心を磨く】 柱1【豊かな心】 道徳的実践力を育む道徳教育を推進している。	2	15	1	0	3.1	+0.1		94	
	2	【重点1 心を磨く】 柱2【優しい心】 異学年交流によるモラル教育を推進している。	4	9	4	0	3.0	±0		76	
	3	【重点1 心を磨く】 柱3【強い心】 体験活動で培う自立と貢献の心を育んでいる。	3	11	3	0	3.0	+0.2		82	
	4	【重点2 知を磨く】 柱1 基礎・基本の習得と活用力を育成している。	2	14	4	0	1	2.9	-0.2		80
	5	【重点2 知を磨く】 柱2 知恵を磨くための授業づくりに取り組んでいる。	2	11	7	0	1	2.8	±0		65
	6	【重点2 知を磨く】 柱3 学習が自然なものとなるためのゼロベースの指導を徹底している。	1	13	5	0	1	2.8			74
	7	【重点3 体を磨く】 柱1 授業、行事等プログラム上の意図的な取組を推進している。	3	15	1	0	3.1	+0.2		95	
	8	【重点3 体を磨く】 柱2 生活の中で自主的に活動できる意識付けと手立てを用いて指導している。	3	15	1	0	3.1	+0.3		95	
目指す子どもの姿	9	道徳の授業での学びが道徳的实践につながっている。	3	10	5	0	2.9			72	
	10	子どもたちは、気持ちの良い挨拶をし、きまりを守って生活しようと努めている。	5	12	3	0	3.1	-0.2		85	
	11	基本的な学習ルールや聞く姿勢の徹底が図られている。	2	14	4	0	1	2.9	±0		80
	12	研修と関連した「できる授業」「分かる授業」により、基礎基本の力や思考力が育っている。	1	14	4	0	1	2.8	±0		79
	13	子どもたちは、本に関心を持ち、読書活動に取り組んでいる。	3	13	3	0	1	3.0	+0.1		84
	14	子どもたちは、宿題や家庭学習を継続し、復習や予習、発展的な学習などに取り組んでいる。	3	13	3	0	3.0	+0.2		84	
	15	日常的な体力づくりにより、運動に対する意欲、体力に高まりが見られる。	3	13	3	0	3.0	-0.2		84	
	16	子どもたちは、一人一人の活動の高まりを認め合うこと（共感的理解）により、自己存在感や有用感を実感してきている。	1	17	2	0	3.0	-0.1		90	
教育活動等	17	集団の一員としての自覚、よりよい人間関係を築こうとする態度の育成のため、学級活動や学校行事、児童会活動等の充実を図っている。	3	10	4	0	1	2.9	-0.2		76
	18	各学年、教科においてバランスの良い授業時数を確保し、適切に指導している。	6	12	2	0	2	3.2	-0.2		90
	19	学力調査や体力テスト等のデータ分析に基づいた授業改善を行っている。	2	10	6	0	3	2.8			67
	20	体育の授業で汗をいっぱいかくくらいの運動量を確保している。	7	9	1	0	4	3.4			94
組織	21	研鑽と修養に努め、授業力や学級経営能力等の職能を向上させた。	2	12	5	0	2.8	-0.5		74	
	22	職員間で学び合い、教え合い、育つ環境ができています。	6	11	2	0	3.2			89	
	23	各分掌が連携し、効率的に学校運営を進めている。	5	11	3	0	3.1	-0.4		84	
	24	自分の分掌業務、担任業務において任務を達成することができた。	5	11	2	1	3.1			84	
	25	特別な支援を要する児童及び担任に対して、組織的な支援体制が構築されている。	6	12	1	0	3.3			95	
	26	生徒指導上の支援が必要な児童について、全職員で情報が共有されている。	6	9	4	0	3.1			79	
環境	27	児童が集中して学び、落ち着いて生活できる教室環境や校内環境が整備されている。	5	11	3	0	3.1	-0.1		84	
開学	28	町内小中各校、高校、保護者地域との交流や協力を努めると共に、必要に応じて教育機関との連携を心がけている。	5	9	3	0	3.1	+0.2		82	

## 前期改善の視点

新型コロナウイルス感染拡大に伴う、緊急事態宣言により、教育活動の制限や運動会の中止など、多くのご不安・ご心配をおかけしましたが、児童・保護者アンケートには、多くの項目で昨年を上回る結果が見られました。アンケートからは、多くの子どもたちが、このような混乱した状況の中でも、友達を思いやり、学習活動や係活動に一生懸命取り組み、学校生活を楽しんでいる様子が伺えます。これも保護者・地域の皆様のご理解とご協力があってこそその結果と捉えています。いただきました貴重なご意見は、学校で検討し、後期に向けて改善してまいります。

児童アンケート・保護者アンケートから見えてくる旭小学校の課題は、「自分には良いところがある（人の役に立っている）」（児童アンケートNo. 10）、家庭での「読書、お手伝い、家庭学習」の習慣づくり（保護者アンケートNo. 2・6・1、児童アンケートNo. 1）です。ご家庭を連携し、子どもの成長の姿として表れるよう取り組んでまいります。

### 自己有用感を高めるために

友だちと一緒に遊んだ時に、「楽しい」と感じたり、「誰かに必要とされている」と自分の存在価値を感じる感覚のことを「自己有用感」と言います。また、「自分にはよいところがある」「自分のことが大切だ」という感覚を自尊感情と言います。

これらが高い子は、何事に対しても積極的に取り組み、つまづいたとしても、自分を受け入れ、他者をも受け入れていくことができるようになっていけると言われています。

学校では、行事や学級活動、児童会活動、学習活動の際に、自己目標立てて最後まで頑張る経験や相手のことを考える場面をつくり自己有用感や自尊感情の育成を目指しています。アンケートからは、まだ実感できていない子も多くいますので、「自分の持ち味やよいところ」、「仲間から必要とされていること」、「自分が役になっていること」を実感できるような場면을意図的に設け、実践を積み重ねて改善してまいります。

ご家庭では、ただ「がんばったね」と褒めるのではなく、子どもなりのこだわりで努力したり工夫したりしたことを認めてあげたり、お手伝いの場面で「ありがとう。助かったよ。」と感謝の気持ちを伝えるなど、1人1人のがんばりをきちんと見ていただけたらと思います。



### 家庭学習の習慣づくりのために

児童アンケートでは、約83%の子どもが「宿題や家庭学習をがんばっている」と回答していますが、学習時間については、「学年×10分」以上の学習をしている割合は、約45%という結果でした。旭小では、この傾向が続いており課題となっております。

北海道では、「学年×10分+10分以上の家庭学習」が推奨されています。中学校・高校への進学を考えた時、低学年のうちから当たり前の習慣として身に付けておく必要があります。

学校では、現在、学力向上委員会を組織し、宿題と家庭学習の位置付けや子どもへの意識付け、取組方法など、各学年の取組を再度検証し、後期からの「家庭学習」について検討を重ねております。

ご家庭でも、後期に向けて、親子で宿題と家庭学習で「学年×10分以上」の習慣づくりについて話し合ってくださいよう、取組へのご協力をよろしく申し上げます。



### ご家庭での読書習慣づくりのために

児童アンケートでは、約84%の子どもが「本を読むのが楽しい」と回答したものの、保護者アンケートの「読書に親しむ習慣が身に付いている」では、約44%のご家庭にとどまり昨年度と同様の結果でした。数年同じ傾向が見られています。

北海道では「家読（家で1日10分以上の読書）」が推奨され、語彙力や読解力などの「言葉の力」を伸ばすのに欠かせない時間だとされています。また、近年では、テレビやゲームだけではなく、SNSやYouTubeなどをタブレットで長時間視聴する子が増えています。

学校では、これまで、美幌出前お話の会「がらがらどん」による朝の読み聞かせや図書館司書によるブックトーク、図書館を活用した読書、国語科における読書活動など、子どもたちが本に親しむ活動を取り入れてきました。新たに今年度からは、夏休み・冬休み後の「生活リズムチェックシート」を行い、読書のきっかけづくりに取り組むこととしました。取組へのご協力をよろしく申し上げます。



# 後期学校評価

12月に実施しました教育活動アンケートへのご協力をいただき誠にありがとうございました。保護者アンケートは198名中135名の方からご解答いただきました。児童・保護者アンケート結果から、旭小の多くの子どもたちが友だちを思いやり、学校生活を楽しんでいる様子が伺えました。

課題は、家庭での「家庭学習・読書」の習慣づくり（保護者アンケートNo. 1～2、児童アンケートNo. 1～5）と「自己有用感」（児童アンケートNo. 19）、です。特に、「読書・家庭学習」については、小学校と中学校の9年間で「自ら学ぶ子ども」を育てるため、美幌中学校と検討を重ね、10月に「家庭学習のてびき」を改訂して取組を進めてきました。まだ十分な成果につながられていませんが、引き続き、ご家庭と連携を深め、子どもの成長の姿として表れるよう取り組んでまいります。

いただきましたご意見をもとに、来年度の教育活動の改善に向けて努力してまいりますので、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 1 児童アンケート

	質問項目	A (4)	B (3)	C (2)	D (1)	E	平均	前期 比	AとBの割合(%)	
1	家庭学習(宿題・自主学習・読書)をがんばっている。	83	65	26	12	6	3.2	±0		80
2	1日あたり、家庭学習(放課後サポート等を含む)をどのくらいしていますか。 【分間】	1年	2年	3年	4年	5年	6年		学年×10分以上の割合(%)	
		15.9	18.2	38.7	26.9	31.7	35.4			49
3	学校で学習した内容は、その日のうちに復習している。	34	59	51	31	14	2.5			53
4	本を読むことが楽しい。	122	38	10	17	4	3.4	±0		86
5	家で1日あたり10分以上読書している。	57	40	41	46	5	2.6			53
6	学習ルール(身がまえ・ものがまえ・心がまえ)をがんばっている。	78	79	17	3	14	3.3	+0.1		89
7	学校の授業はわかりやすい。	127	40	12	6	5	3.6	±0		90
8	授業では、課題に対して自分で考え、自分から取り組んでいる。	71	82	24	6	6	3.2			84
9	授業では、自分の考えを深めたり、考えをまとめることができている。	62	81	31	8	9	3.1			79
10	友だちを大切に、なかよくしている。	157	23	3	2	4	3.8	±0		97
11	学校での生活は楽しい。	143	28	5	12	1	3.6	±0		91
12	学級の当番や係活動、掃除をすすんでやっている。	130	49	7	2	2	3.6	±0		95
13	運動や遊びなど体を動かすことが好き。	142	23	11	12	2	3.6	±0		88
14	元気にあいさつしている。	91	66	18	8	7	3.3	-0.1		86
15	自分でやると決めたことは、やりとげようとしている。	106	59	9	7	10	3.5			91
16	将来の夢や目標をもっている。	117	35	15	13	10	3.4			84
17	人がこまっているときは、進んで助けている。	89	73	15	3	11	3.4			90
18	人の役に立つ人間になりたい。	150	29	5	1	6	3.8			97
19	自分にはよいところがある。	63	51	20	26	29	2.9	±0		71
20	先生は自分のがんばりをほめてくれる。	109	52	4	9	17	3.5	±0		93



## 2 保護者アンケート

	質問項目	A (4)	B (3)	C (2)	D (1)	E	平均	前年度比	AとBの割合(%)	
1	家庭学習の習慣が身に付いている。	36	71	23	4	1	3.0	±0		80
2	読書に親しむ習慣が身に付いている。	15	41	54	25	0	2.3	-0.2		41
3	「学校の授業は分かりやすい」と言っている。	41	71	12	0	11	3.2	±0		90
4	思いやりをもって生活している。	35	93	6	0	1	3.2	±0		96
5	学校生活を楽しんでいる。	76	51	8	0	0	3.5	±0		94
6	家庭では進んでお手伝いをしている。	20	65	42	7	1	2.7	-0.1		63
7	健康に気を配り、運動や遊びに興味を持って取り組んでいる。	43	64	24	1	3	3.1	-0.1		81
8	挨拶など、基本的な生活習慣が身に付いている。	29	96	7	2	1	3.1	-0.1		93
9	生徒指導・学習指導などにおいて、家庭と学校の協力関係が築かれている。	51	62	9	1	12	3.3	±0		92
10	コロナ禍で様々な制限がある中、学校は、行事や教育活動を工夫して実施している。	79	50	3	1	2	3.6	+0.3		97
平均時間		1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校で1日2時間以内の割合(%)		
11	1日平均、テレビやゲーム・インターネットなどは、どのくらい見えていますか。	122分	110分	169分	152分	165分	166分		56	
12	1日平均、家でどのくらい勉強をしていますか。	22分	30分	34分	35分	40分	28分		55	
13	1日平均、家でどのくらい本を読んでいますか。	8分	8分	8分	9分	12分	16分		60	



### 3 職員評価

		「学びに浸り、学びが湧き上がる子どもの育成」 ～浸透する知を治め 湧き上がる知を操る 機知に富む旭の子～						A	B	C	D	E	平均	前年度比	AとBの割合	
重点教育目標	1	【重点1】心を磨く～一人に尽くせる力を養う～ 注1【道徳的実践力】①“自分事”として考える“当事者性”を持たせた道徳の授業実践に取り組む②日常生活、学校行事等の場において“自分でできること”を考えさせ、実際に行動させ、振り返る活動を取り入れる	1	15	1	1		2.9	-0.2			89				
	2	【重点1】心を磨く～一人に尽くせる力を養う～ 注2【モラル教育】①ブロッグ開、低・高学年での学習交流の場の設定をし、相手意識を持たせた活動の体験を通して、場に応じた「よい行動」ができるようにする②学級活動、児童会活動を通して「誰かの役に立つ」体験や活動を通して相手意識や目的意識を高める	1	14	4	0		2.8	-0.2			79				
	3	【重点1】心を磨く～一人に尽くせる力を養う～ 注3【自立と貢献】①学級活動、児童会活動を通して「誰かの役に立つ」体験や活動を通して自己有用感を高める②自分一人で、または仲間と協力して一つのことをやり遂げる経験をさせていく。	3	13	3	0		3.0	+0.1			84				
	4	【重点2】知を磨く～自然な学びを続ける力を養う 注1【基礎学力の定着】①基礎学力1→語彙力の向上＝読書量を増やす(多くの言葉、文章に触れる) 該当学年の配当漢字が読める②基礎学力2→「読む力」＝教科書をスラスラ音読できる③基礎学力3→「読む力」＝要約力(ズバリ言うと何のこと キーワード) ④基礎学力4→「書く力」＝問いに正対した答え1文で書く200字⑤基礎学力5→「計算力」＝該当学年の四則計算がどの子もできる⑥基礎学力6→chromebookを学習で活用する次年度に向け各学年の「活用計画」の作成	0	15	2	0	1	2.9	-0.1			88				
	5	【重点2】知を磨く～自然な学びを続ける力を養う 注2【授業づくり】①単元、本時の目標(どのような力をつけるのか)を明確にした授業を行う②ゴールを明確にした授業を行う(めあて・問題・課題を効果的に提示する)③子供の「知りたい・わかりたい」意欲を引き出す導入の工夫を行う④「自分の考え」を「持つ」「交流する」「創り上げる」過程を重視する⑤単元、本時の学習の“振り返り”で自己の学びを意識させ⑥次年度に向け、総合的な学習の時間の年間指導計画の見直しを行う→ポストコロナ、70時間を体系的に行える学習へ変換!	0	16	1	0	1	2.9	±0			94				
	6	【重点2】知を磨く～自然な学びを続ける力を養う 注3【学習環境づくり】①宿題・家庭学習→量(時間)より質(中身と必要性)と習慣化②学習ルール(学習規律)の再確認を行い、全職員で共有・実践する③チャイムでON/OFFの切り替えができる工夫と意識づくりを徹底する→45分間を大切に使う授業(チャイムで始まり終わる)	4	11	3	0	1	3.1	+0.3			83				
	7	【重点3】体を磨く～体の使い方を身に付ける力を養う 注1【体力向上のプログラム】①体力向上プランを作成し、全校で課題を共有した取り組みを行う②各学年で体力テストの分析結果の元、体育の授業での意図的な基礎感覚・基礎技能の向上を図る取り組みを行う	0	11	4	0		2.7	-0.4			73				
	8	【重点3】体を磨く～体の使い方を身に付ける力を養う 注2【運動・健康への意識付け】①栄養教諭、養護教諭と連携した食育の授業を実践する②少年団活動への参加の啓もうを行う③休み時間を活用し、積極的に体を動かす遊びに取り組む	1	12	5	0		2.8	-0.3			72				
目指す子どもの姿	9	道徳の授業での学びが道徳的実践につながっている。	0	16	2	0		2.9	-0.1			89				
	10	子どもたちは、気持ちの良い挨拶をし、きまりを守って生活しようと努めている。	2	13	4	0		2.9	-0.2			79				
	11	基本的な学習ルールや聞く姿勢の徹底が図られている。	0	15	3	1	1	2.7	-0.2			79				
	12	研修と関連した「できる授業」「分かる授業」により、基礎基本の力や思考力が育っている。	0	14	4	0	1	2.8	±0			78				
	13	子どもたちは、本に関心を持ち、読書活動に取り組んでいる。	0	12	5	0	1	2.7	-0.3			71				
	14	子どもたちは、宿題や家庭学習を継続し、復習や予習、発展的な学習などに取り組んでいる。	0	11	4	0		2.7	-0.3			73				
	15	日常的な体力づくりにより、運動に対する意欲、体力に高まりが見られる。	1	11	6	0		2.7	-0.3			67				
	16	子どもたちは、一人一人の活動の高まりを認め合うこと(共感的理解)により、自己存在感や有用感を実感してきている。	2	13	4	0		2.9	-0.1			79				
教育活動等	17	集団の一員としての自覚、よりよい人間関係を築こうとする態度の育成のため、学級活動や学校行事、児童会活動等の充実を図っている。	2	14	2	0	1	3.0	-0.2			89				
	18	各学年、教科においてバランスの良い授業時数を確保し、適切に指導している。	5	11	2	0	2	3.2	±0			89				
	19	学力調査や体力テスト等のデータ分析に基づいた授業改善を行っている。	0	14	3	0	3	2.8	±0			82				
	20	体育の授業で汗をいっぱいかくくらいの運動量を確保している。	4	12	2	0	4	3.1	-0.3			89				
組織	21	研鑽と修養に努め、授業力や学級経営能力等の職能を向上させた。	2	13	3	0		2.9	+0.1			83				
	22	職員間で学び合い、教え合い、育つ環境ができています。	4	11	3	0		3.1	-0.1			83				
	23	各分掌が連携し、効率的に学校運営を進めている。	5	9	4	0		3.1	±0			78				
	24	自分の分掌業務、担任業務において任務を達成することができた。	3	11	4	0		2.9	-0.2			78				
	25	特別な支援を要する児童及び担任に対して、組織的な支援体制が構築されている。	4	13	0	0		3.2	-0.1			100				
	26	生徒指導上の支援が必要な児童について、全職員で情報が共有されている。	5	11	2	0		3.2	-0.1			89				
環境	27	児童が集中して学び、落ち着いて生活できる教室環境や校内環境が整備されている。	2	13	3	0		2.9	-0.2			83				
開学	28	町内小中各校、高校、保護者地域との交流や協力を努めると共に、必要に応じて教育機関との連携を心がけている。	2	9	2	0		3.0	-0.1			85				





# 学校運営協議会評価

## 1 第1回学校運営協議会（令和3年9月17日実施）

### （1）学校運営の経過報告・経営方針

- ・GIGAスクールに一人1台端末の導入に伴い、大人の目の離れたところでいじめ等が行われる心配や不安が増えている。学校裏サイトやSNSなどを利用したいじめが社会問題となっている。学校での情報モラル教育の充実と保護者向け啓発資料や研修会など実施するべきである。
- ・GIGA 端末持ち帰りに伴い、フィルタリングをかけることにより何ができて何ができないのか、保護者から心配や不安の声が聞かれている。教育委員会は明らかにするべきである。

### （2）前期学校評価・学力学習状況調査

- ・家庭学習の定着に向け、担任によって指導が変わることなく、学校としての取組を進めてほしい。
- ・小中9年間で「自ら学ぶ子」を育てるためには、段階的に家庭学習に取り組む習慣づくりが大切である。家庭学習の手引きの改訂内容が子どもたちに定着させられるようにしてほしい。・家庭で、小さな頃から図書館に通うなど、本に親しむ環境を整える必要がある。

### （3）今後の学校運営

- ・学力が付けられないのは、学校の責任であり、結果を出す責務がある。問題があるから結果に結びついていない。学級崩壊、担任の力量、保護者の意識、授業の質の低下、原因を明らかにし、具体的にどう改善するのか明確にする必要がある。
- ・思考・判断・表現力を伸ばす授業改善が必要である。いろいろな角度から考える授業や楽しく自分の考えを出す授業など、授業改善が必要である。

### （4）学校運営協議会連携会

- ・連携会設置の経緯が見えない。会長に打診もなく、決定に至るまでの手順が違う。コロナ禍で自校協議会の活動もままならない中、なぜ、連携会が開催できるのか。

## 2 第2回学校運営協議会（令和3年11月12日）

### （1）学校運営協議会連携会

- ・連携会の趣旨には賛同できる。今後は、決定に至るまでの説明やプロセスを丁寧に行ってほしい。

### （2）学力学習状況調査結果・学力向上の取組

- ・家庭学習の定着に向け、担任によって指導が変わることなく、学校としての取組を進めてほしい。
- ・小中9年間で「自ら学ぶ子」を育てるためには、段階的に家庭学習に取り組む習慣づくりが大切である。家庭学習の手引きの改訂内容が子どもたちに定着させられるようにしてほしい。

## 3 第3回学校運営協議会（令和4年3月書面決議）

### （1）学校運営の経過報告・来年度の経営方針

- ・主体性や目的意識を持たせるための工夫についての記載をもう少し具体的に示してほしい。
- ・自己肯定感の低い子供が30%いる背景にはコロナ禍が続き行動が制限されたり我慢することが多くなったりして、自分を十分に表現できていない環境が原因となっている。「自己有用感」を高めるために、どのように家庭に理解と協力を求めていくかがカギであるとする。
- ・コロナに関連した休校や学級閉鎖は、子どもたちの学習面や健康面を考えれば、学力の二極化や生活リズムの乱れなど、大きなリスクがある。学校の感染防止対応も難しいと思うが、学校・地域・保護者が、子どもたちのより良い成長を支え合っていけるようすることが大切である。